

2013 年大学入試センター試験 【講評(速報)】倫理, 政治・経済

総 論

「倫理, 政治・経済」という科目があるのではなく, 「倫理」と「政治・経済」の2つの科目から出題される。大問数は6題。出題の構成は, 第1問～第3問が「倫理」分野から, 第4問～第6問が「政治・経済」分野から出題である。小問数は39問で, 「倫理」の38問, 「政治・経済」の36問より多い傾向は2012年と同じである。

第1問～第3問の主題文は「倫理」と共通しており, 小問も共通問題が多い。2012年は全てが「倫理」との共通問題であったが, 2013年は「倫理, 政治・経済」のみの小問が2問出題された。また2012年の第3問は主題文がなかったが2013年は全て主題文がつけられた。第4問は「倫理, 政治・経済」独自の主題文と独自の小問が含まれている。第5問・第6問は「政治・経済」の主題文と共通, 小問は「政治・経済」と共通であった。

大問の内容

第1問 倫理 青年期・現代社会：発達課題・情報化社会の課題（14点）

情報技術, 特にインターネットの普及と社会や個人への影響についての対話文に関連する自己の出題。全て「倫理」の小問と共通。但し, 小問の数は「倫理」が11問に対し, 5問にとどまる。

第2問 倫理 日本思想：日本の思考の筋道「理」の変遷（18点）

「理」の変遷を主題として, 関連する古典の内容, 思想家の思想についての知識などを問う問題。「倫理」の第3問の主題文を用いた問題。小問は「倫理」の第2問から2問, 第3問から5問が出題されている。

第3問 倫理 西洋思想：西洋思想における批判の意味（18点）

近代以降の思想家が批判をどのように捉えてきたのかという主題のもと, 著名な思想家の思想の内容を問う問題。思想家については基本的事項を中心に問われている。「倫理」の第4問と主題文は共通し, 小問も5問が共通しているが, 2問は「倫理, 政治・経済」のみの出題。

第4問 政治・経済 国際政治・国際経済（14点）

1970年代から2000年代の国際政治・国際経済を概観した主題文に基づく出題。国際社会で起きた出来事の他, 諸外国の政治制度や国民生活の実態, 日本の行政改革についての出題がみられた。小問数6問のうち「政治・経済」と共通する問題が4問。残りの2問は非共通問題。この出題形式は2012年と同じであった。

第5問 政治・経済 日本の統治制度（18点）

「政治・経済」の第3問と共通する, 学生の対話文から日本の統治制度の全般を問う問題。第4問と同じく統計の読み取り問題が出題されている。小問全てが共通。

第6問 政治・経済：市場取引を支えるルール（18点）

国民経済全般を問う, 「政治・経済」の第4問と共通問題。貨幣の機能, 企業, 消費者の権利, 市場の原理などが出題されている。小問数も「政治・経済」と同じであるものの, 配点は異なる。